

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第41週～42週(10/6～10/19) 定点報告：第38～42週(9/15～10/19)

全数報告疾患情報

医

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第38週～第42週のグラフを別添しております

2類感染症	41～42週	累計(年)
結核	7	103

5類感染症	41～42週	累計(年)
百日咳	4	157
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1	9

発生動向トピックス

TOPICS 1

日本の風しんの排除が認定されました

医 全

厚労省は令和7年9月26日に世界保健機関西太平洋地域事務局より、新たに日本の風しんの排除が認定されたことを発表しました。日本国内に定着したウイルスによる感染の広がりが3年間確認されないことなどの認定基準を満たしたことによるものです。

これまで日本では、風疹の流行が断続的に発生していましたが、予防接種の普及や抗体検査の推進、啓発活動の強化など長年にわたる努力が実を結び、今回の快挙に至りました。

感染症解説

風しん

症状

- 発熱 ■発疹 ■リンパ節の腫れ
- 妊娠早期(20週頃以前)の女性が感染することで胎児が先天性風しん症候群を発症する原因となる

■先天性心疾患 ■難聴 ■白内障 等

感染経路

- 飛沫感染
感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、病原体が含まれた小さな水滴(飛沫)が口から飛び、これを近くにいる人が吸い込むことで感染する
- 接触感染
ウイルスが付着した物(おもちゃやドアノブ等)に触れた手で、口や鼻、目を触ったりすることで病原体が体内に侵入し感染する

※ウイルス排出は発疹出現の前後1週間で、発症前から感染力がある

感染対策

- 予防接種が有効
定期接種 第1期：1歳の1年間(1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで)
第2期：5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間

風しんは、2008年に5類感染症の全数把握疾患に指定されて以降、2度にわたって全国的な流行が発生しています。2012年～2014年の報告数は約1万7,000例、2018年～2020年には約5,000例にも上り、それらの流行に関連した先天性風しん症候群も報告されています。

2012年～2014年、2018年～2020年の全国規模の風疹流行では、それぞれ30代後半、40代を中心とする成人男性の感染が多く報告されました。

この世代の男性が風しん流行の中心となった背景には、予防接種制度の変遷があります。日本では1977年に風しんワクチンが定期接種として導入されましたが、当初は女子中学生だけが対象でした。その後、男女全ての小児に予防接種の機会が提供されるようになりましたが、1962年～1978年生まれの男性は予防接種を受ける機会がなかったため抗体保有率が低い「空白世代」となってしまいました。

この世代が予防接種を受けることで、風しんの流行を防ぎ、社会全体の感染リスクを下げることが期待し、厚労省は1962年～1979年生まれの男性を対象に「第5期定期接種事業」を実施しました（2025年3月31日をもって終了）。

風しんが特に問題となるのは、妊婦が感染した場合です。妊娠早期（20週頃以前）の女性が感染することで胎児が先天性風しん症候群を発症する原因となります。先天性風しん症候群は赤ちゃんの一生にかかわる障害を引き起こす可能性があり、これを防ぐ有効な手段が予防接種です。

千葉県では、先天性風しん症候群のリスクを減らし、風しんの流行を抑えるために「風しん抗体検査」や「予防接種」を勧奨しています。市川市や浦安市でも、大人を対象とした予防接種の一部助成が行われており、地域全体で先天性風しん症候群の発生予防に取り組んでいます。風しん排除という成果を維持し、次世代に健康な社会を引き継ぐために、私たち一人ひとりができることに取り組みましょう。

千葉県風しん抗体検査

▼対象者

検査の対象になる方は、妊娠を希望する女性とその同居者及び抗体価の低い妊婦の同居者となります。具体的には、次の1から4の全項目の条件を満たすことが要件となります。

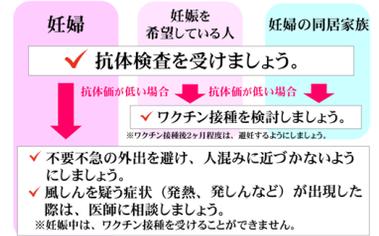
- ① 県内市町村に居住地（千葉市・船橋市・柏市を除く）を有している
- ② 次の（1）から（3）のいずれかに該当すること
 - （1）妊娠を希望する女性
 - （2）妊娠を希望する女性の同居者
 - （3）風しんの抗体価（免疫）が低い（EIA（IgG）法で8.0未満、HI法で32倍未満）妊婦の同居者
- ③ 過去に風しん抗体検査を受けたことがない、または、十分な量の風しんの抗体価（EIA（IgG）法で8.0以上、HI法で32倍以上）を確認できていない
- ④ 過去に検査による風しんと診断されたことがない

詳細は [千葉県ホームページ](#)へ

妊娠を希望する女性、妊婦とご家族へ

風しんから
お腹の子どもを守りましょう

・妊婦が風しんにかかることで、眼や耳、心臓に障害をもった子どもが生まれることがあります。
・この障害は、先天性風しん症候群（CRS：Congenital Rubella Syndrome）とよばれています。



詳しくは、厚生労働省のホームページもご覧ください。
厚生労働省
感染症対策課 2025年9月作成



【参考】厚労省「世界保健機関西太平洋地域事務局より日本の風しんの排除が認定されました」

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_63996.html

【参考】厚労省「風しん」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index.html

【参考】JIHS「風しん」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/rubella/>

【参考】JIHS「風疹および先天性風しん症候群の発生に関するリスクアセスメント（2025年7月1日時点）」

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/rubella/risk-assessment/rubella_ra_2025_1.pdf

【参考】市川市「大人の風疹予防接種一部公費助成について」

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/pub10/0000464643.html>

【参考】浦安市「麻疹（はしか）風しん予防接種の費用を助成します」

<https://www.city.urayasu.lg.jp/fukushi/yobou/josei/1001142.html>

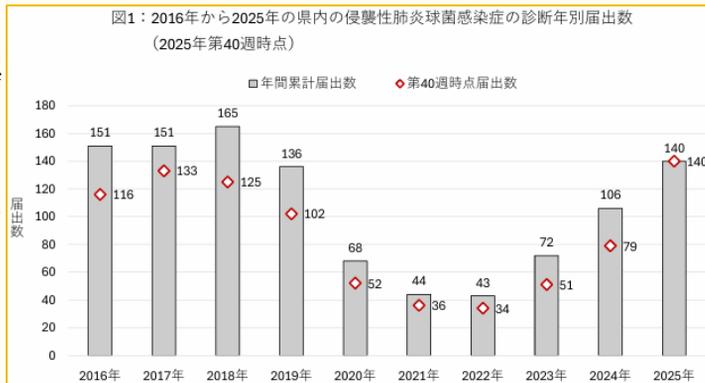
TOPICS 2

侵襲性肺炎球菌感染症に注意しましょう

医 全

千葉県では、2025年第40週に県内医療機関から1例の届出があり、本年の累計は140例になりました。第40週における届出数としては直近10年で最も多い（図1）ことから、今後の発生動向に注意が必要です。

肺炎は日本において依然として深刻な健康問題とされており、2023年及び2024年の死亡原因の第5位に位置しています。成人の肺炎の中でも約2~3割が肺炎球菌によるものと考えられています。



症状

小児及び高齢者を中心とした発症が多い

■小児の場合

肺炎を伴わず、発熱だけが初期症状として現れることが多く、感染原因のわかりにくい菌血症がみられる
髄膜炎は直接発症する場合もあるが、肺炎球菌による中耳炎が悪化し髄膜炎になることもある

■成人（主に高齢者）の場合

菌血症を伴う肺炎が多く、初期症状として発熱、咳、痰、息切れが現れることがある
髄膜炎になると、頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状等の症状を示す

感染経路

■飛沫感染

感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、病原体が含まれた小さな水滴（飛沫）が口から飛び、これを近くにいる人が吸い込むことで感染する

感染対策

予防接種が有効

■こどもの肺炎球菌ワクチン

使用ワクチン：2014年10月以降、原則として、沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)を使用する（沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV15)も使用可能）
標準スケジュール（初回接種開始時に生後2~7か月のお子さん）

初回接種：生後2か月から接種を開始し、およそ1か月おきに3回接種する

追加接種：初回接種が終わった後、最後の接種から60日以上あけたうえで生後12か月以降に1回接種する

■高齢者の肺炎球菌ワクチン

使用ワクチン 23価肺炎球菌ワクチン

対象となる方（定期接種は①、②、③を通して生涯で1回のみとなります）

①65歳の方（※定期接種の機会には65歳の1年間です。定期接種の対象となる方で接種を希望する方は、接種の機会を逃すことがないようにご注意ください）

②60~64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方

③60~64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

【参考】千葉県感染症情報センター「2025年第40週（2025年9月29日から2025年10月5日）（2025年9月分月報を含む）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2540.pdf>

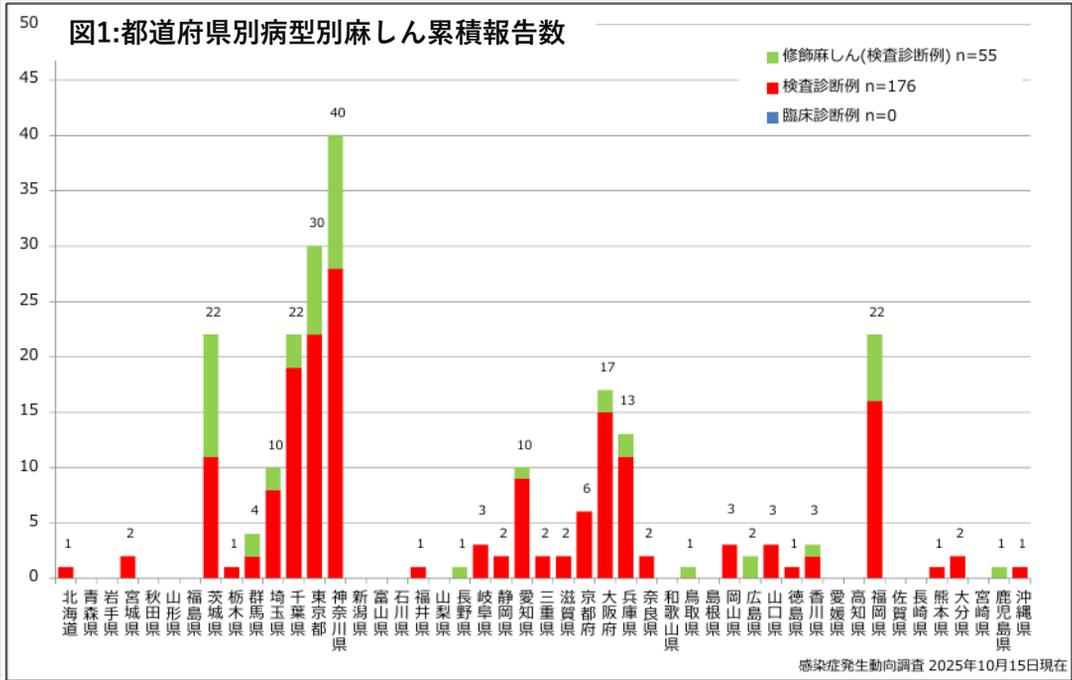
【参考】厚労省「子どもの肺炎球菌ワクチン」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/pneumococcus-child/index.html

【参考】厚労省「高齢者の肺炎球菌ワクチン」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/pneumococcus-senior/index.html

千葉県では、2025年第42週に届出はなく、2025年の累計は22例です。
 全国では、2025年第41週に京都府と福岡県で各1例の届出があり、2025年の累計は231例となりました。



【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況(2025年42週)」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202542measles.pdf>
 【参考】JHIS「麻疹発生動向調査 2025年第41週」
<https://id-info.jhis.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-41.pdf>

インフルエンザ感染症

—— 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況 (人)

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	79	2	0	0	1

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な 11 例を除く)

第42週の千葉県全体の定点当たり報告数は、6.99(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、2.88(人)でした(図2)。

第42週に千葉県内で報告のあった例のうち、A型1,158例(96.9%)、B型19例(1.6%)であり、A型が多い状況です。

2025年第41週から第42週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です

図1

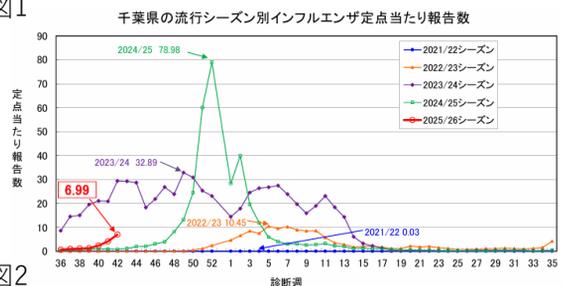
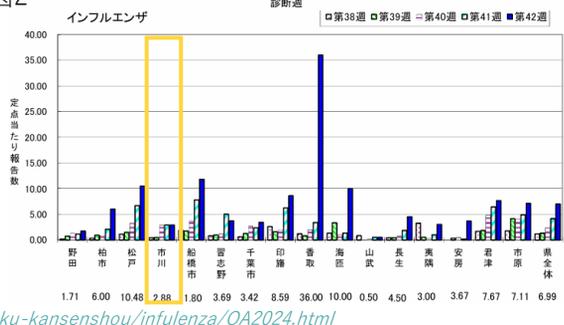


図2



感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202542influenza.pdf>
 【参考】厚生労働省：インフルエンザQ&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/influenza/QA2024.html

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第42週の千葉県全体の定点当たり報告数は、2.55(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、長生(7.00)、夷隅(5.75)、松戸(4.24)保健所管内でした。

市川保健所管内の報告数は、前週から減少し、1.53(人)となっています(図2)。

図1

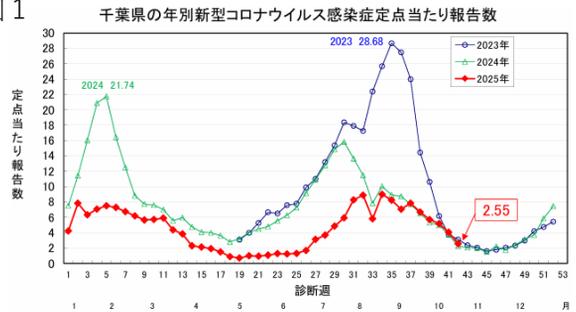
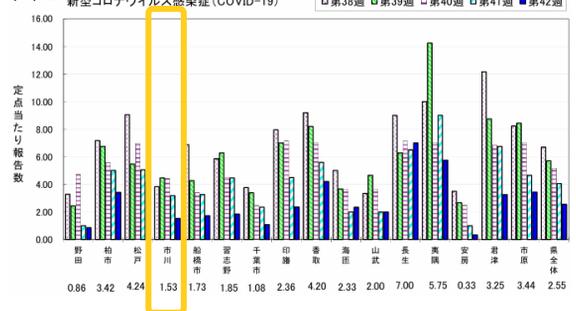


図2



感染対策

インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202542covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

お知らせ

・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。

※閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。



◀◀ 感染症法に基づく 医師の届出ハンドブック

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/pamphlet_A4.pdf

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配信元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp